

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第63期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 福留八ム株式会社

【英訳名】 FUKUTOME MEAT PACKERS, LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 島 修 治

【本店の所在の場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明 石 嘉 典

【最寄りの連絡場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明 石 嘉 典

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	13,718,216	14,057,356	27,843,125
経常利益 (千円)	89,131	111,431	349,372
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)	5,606	43,332	172,380
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	86,451	90,557	407,442
純資産額 (千円)	4,640,980	5,174,546	5,134,583
総資産額 (千円)	17,414,574	16,866,938	17,601,223
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)	0.34	2.59	10.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	26.6	30.7	29.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	565,990	377,524	999,341
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	28,260	98,394	103,714
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	363,443	643,797	649,414
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,309,898	3,213,948	3,381,825

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.60	1.57

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度における有価証券報告書「第2 事業の状況 4 . 事業等のリスク」に記載の事項から重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の大規模金融緩和などの効果により、円高の是正や株価上昇の兆しもみえ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、新興国経済の減速、米国金融政策等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、また、消費者の節約志向は引き続き強く、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続して行なっておりましたが、8月より納品価格の改正等を行なっております。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、“ザ・広島ブランド（味わいの一品）”に認定されているロングセラー商品の「サクラ咲く花ソーセージ」、昨年発売の「ポークポロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、140億57百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。利益につきましては、営業利益は91百万円（前年同四半期比35.6%増）、経常利益は1億11百万円（前年同四半期比25.0%増）、四半期純利益は43百万円（前年同期は5百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、消費者の節約志向は引き続き強く推移しているものの、昨年発売の「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用したウイナーが好調に推移し、全体の落ち込みをカバーいたしました。

その結果、売上高は66億7百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2億79百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産豚におきましては、輸入豚肉の代替需要の増加から高値が継続し、売上高は微増となりました。一方、国産牛におきましては、消費低迷からの回復がみられるものの、出荷頭数の減少と牛肉消費回復による価格上昇により、売上高は微増となりました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格の上昇に伴い販売価格が上昇し、売上高は微増となりました。

その結果、売上高は74億49百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同四半期比51.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億34百万円減少の168億66百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億12百万円減少の74億88百万円となりました。主な要因は、現金及び預金2億67百万円と受取手形及び売掛金6億18百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少の93億78百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定16百万円と投資有価証券の評価替等99百万円の増加、有形固定資産91百万円の減少によるものであります。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億74百万円の減少の116億92百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億51百万円減少の85億84百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金93百万円、未払金88百万円及び短期借入金2億95百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少の31億7百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億42百万円の減少によるものであります。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加の51億74百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金47百万円の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少の32億13百万円（前連結会計年度比5.0%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億77百万円（前第2四半期連結累計期間は5億65百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、減価償却費1億97百万円、売上債権の減少6億18百万円及び、たな卸資産の増加2億13百万円、仕入債務の減少1億20百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、98百万円（前第2四半期連結累計期間は28百万円の資金使用）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入1億円、有価証券の償還による収入50百万円及び有形固定資産の取得による支出42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億43百万円（前第2四半期連結累計期間は3億63百万円の資金使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額2億20百万円、長期借入金の返済による支出3億18百万円、配当金の支払額50百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は84百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,000,000	17,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	17,000,000	17,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		17,000,000		2,691,370		1,503,937

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社福留興産	広島市西区草津港2丁目6-75	5,214	30.67
福栄会	広島市西区草津港2丁目6-75	1,655	9.74
福原康彦	広島市西区	644	3.79
滝沢ハム株式会社	栃木県栃木市泉川町556	384	2.26
中島修治	広島市西区	354	2.08
株式会社フジ	愛媛県松山市宮西1丁目2-1	316	1.86
株式会社もみじ銀行	広島市中区胡町1-24	311	1.83
福原治彦	広島市西区	301	1.77
福留ハム従業員持株会	広島市西区草津港2丁目6-75	284	1.68
株式会社広島銀行	広島市中区紙屋町1丁目3-8	242	1.42
株式会社伊予銀行	愛媛県松山市南堀端町1	232	1.37
計		9,939	58.47

- (注) 1. 福栄会は、当社の取引先企業で構成された持株会であります。
 2. 上表のほか当社所有の自己株式301千株(1.77%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 300,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,593,000	16,593	
単元未満株式	普通株式 107,000		
発行済株式総数	17,000,000		
総株主の議決権		16,593	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 福留八ム株式会社	広島市西区草津港 二丁目6番75号	301,000		301,000	1.77
計		301,000		301,000	1.77

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。
 なお、当該株式数は【発行済株式】の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 支援カンパニー副COO 兼社長室 長 兼総務 支援部担当 兼総合 本部戦略事業責任者	取締役 支援カンパニー副COO 兼総合本部戦略事業責任者	福原 治彦	平成25年9月2日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,651,825	3,383,948
受取手形及び売掛金	3,286,437	2,668,204
有価証券	50,000	-
商品及び製品	826,241	937,183
仕掛品	44,581	43,559
原材料及び貯蔵品	223,261	327,074
繰延税金資産	103,550	99,902
その他	24,408	33,333
貸倒引当金	9,504	5,055
流動資産合計	8,200,801	7,488,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,232,059	2,151,743
機械装置及び運搬具(純額)	337,038	357,534
土地	3,347,087	3,344,656
リース資産(純額)	288,651	259,552
その他	24,804	24,888
有形固定資産合計	6,229,641	6,138,375
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
ソフトウェア仮勘定	-	16,210
その他	3,656	3,481
無形固定資産合計	24,857	40,892
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927,223	2,026,851
出資金	85,517	85,507
敷金及び保証金	131,322	127,662
保険積立金	34,081	34,081
繰延税金資産	915,991	880,252
その他	245,119	237,828
貸倒引当金	193,331	192,663
投資その他の資産合計	3,145,922	3,199,519
固定資産合計	9,400,422	9,378,787
資産合計	17,601,223	16,866,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,541,103	2,447,566
短期借入金	5,493,400	5,197,500
未払金	491,730	403,492
未払費用	88,587	90,955
未払法人税等	163,270	81,849
賞与引当金	209,277	215,743
リース債務	106,152	104,253
その他	42,774	43,421
流動負債合計	9,136,296	8,584,781
固定負債		
長期借入金	833,900	591,800
退職給付引当金	2,023,006	2,058,244
役員退職慰労引当金	244,931	253,194
リース債務	188,126	160,635
その他	40,379	43,736
固定負債合計	3,330,344	3,107,610
負債合計	12,466,640	11,692,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	590,128	583,357
自己株式	74,460	74,951
株主資本合計	4,710,975	4,703,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	422,625	469,846
その他の包括利益累計額合計	422,625	469,846
少数株主持分	982	986
純資産合計	5,134,583	5,174,546
負債純資産合計	17,601,223	16,866,938

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,718,216	14,057,356
売上原価	11,170,166	11,504,802
売上総利益	2,548,049	2,552,553
販売費及び一般管理費	2,480,655	2,461,165
営業利益	67,393	91,388
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,586	16,251
不動産賃貸料	29,820	31,729
その他	29,154	22,550
営業外収益合計	75,560	70,531
営業外費用		
支払利息	53,822	48,469
その他	-	2,017
営業外費用合計	53,822	50,487
経常利益	89,131	111,431
特別利益		
固定資産売却益	30	-
投資有価証券売却益	1,061	-
特別利益合計	1,091	-
特別損失		
投資有価証券評価損	26,542	-
固定資産除却損	5	1,498
減損損失	3,340	2,430
特別損失合計	29,889	3,929
税金等調整前四半期純利益	60,333	107,502
法人税、住民税及び事業税	96,398	71,216
法人税等調整額	30,462	7,050
法人税等合計	65,936	64,165
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	5,602	43,336
少数株主利益	4	4
四半期純利益又は四半期純損失()	5,606	43,332

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	5,602	43,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,848	47,220
その他の包括利益合計	80,848	47,220
四半期包括利益	86,451	90,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,455	90,553
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,333	107,502
減価償却費	204,249	197,976
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,100	8,262
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,197	5,116
退職給付引当金の増減額(は減少)	71,090	35,238
受取利息及び受取配当金	16,586	16,251
支払利息	53,822	48,469
有形固定資産売却損益(は益)	30	-
有形固定資産除却損	5	1,498
減損損失	3,340	2,430
投資有価証券評価損益(は益)	26,542	-
投資有価証券売却損益(は益)	1,061	-
売上債権の増減額(は増加)	148,427	618,232
たな卸資産の増減額(は増加)	33,098	213,733
仕入債務の増減額(は減少)	87,755	120,315
その他	13,804	95,921
小計	619,284	568,271
利息及び配当金の受取額	16,569	16,380
利息の支払額	46,257	55,001
法人税等の支払額	23,606	152,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,990	377,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	28,497	42,243
有形固定資産の売却による収入	38	-
有価証券の償還による収入	-	50,000
投資有価証券の取得による支出	5,948	5,969
投資有価証券の売却による収入	11,046	-
無形固定資産の取得による支出	-	16,593
その他	4,898	13,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,260	98,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	480,000	220,000
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	281,600	318,000
配当金の支払額	50,108	50,103
リース債務の返済による支出	51,599	55,202
自己株式の取得による支出	135	490
財務活動によるキャッシュ・フロー	363,443	643,797
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	174,285	167,877
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,613	3,381,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,309,898	3,213,948

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	6,719千円	千円
支払手形	3,838 "	"

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	690,228千円	697,254千円
賞与引当金繰入額	132,333 "	136,211 "
退職給付費用	134,649 "	136,103 "
貸倒引当金繰入額	24,658 "	"
荷造運搬費	486,907 "	501,933 "
販売奨励金	215,140 "	217,551 "
役員退職慰労引当金繰入額	8,100 "	8,262 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	3,579,898千円	3,383,948千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	270,000 "	170,000 "
現金及び現金同等物	3,309,898千円	3,213,948千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	50,108	3	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	50,103	3	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,450,250	7,267,966	13,718,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	6,450,250	7,267,966	13,718,216
セグメント利益	231,048	52,697	283,745

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,745
全社費用(注)	216,352
四半期連結損益計算書の営業利益	67,393

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				3,340	3,340

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント利益	279,040	25,565	304,605

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	304,605
全社費用(注)	213,217
四半期連結損益計算書の営業利益	91,388

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				2,430	2,430

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(円)	0.34	2.59
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	5,606	43,332
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(千円)	5,606	43,332
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,702	16,700

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

福留八ム株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 良 智

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 家 元 清 文

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福留八ム株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福留八ム株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。